

教育委員会議会議録〔詳細〕は、市役所1号館2階の市政資料室で公開しています。

.....

佐倉市教育委員会会議録〔会議概要〕

令和6年1月教育委員会会議：定例会

期 日 令和6年1月17日（水） 開会 午後2時00分
閉会 午後2時26分

会 場 社会福祉センター3階中会議室

出席委員 圓城寺一雄 教育長 吉村真理子 教育長職務代理者
菅谷 義範 委員 熊倉 夏子 委員
柴内 靖 委員

傍聴者 2名

出席職員 教 育 長 圓城寺 一雄(再掲) 教 育 部 長 緑川 義徳
教育部参事(学務課長事務取扱) 村上 武宏 教育部参事(指導課長事務取扱) 榎本 泰之
教育総務課長 菊間 明美 教育センター所長 松原 和弘
社会教育課長 舎人 樹央 文 化 課 長 猪股 佳二
教育総務課企画財務班長 平野 昌彦
事 務 局 教育総務課教育総務班長 千々岩和代 教育総務課教育総務班 實川 和博

〈 会議概要 〉

1 教育長開会宣言

2 報告事項

① 教育長、教育長職務代理者より2件報告 (教育長)

1点目、冬季休業後の児童生徒の状況について。今年は17日間の休業日となったが、1月9日に学校は予定どおり全校集会を行い、新しい年をスタートした。子どもたちは、元気に登校している。3学期は、年度のまとめの時期に当たるので、子どもたちの成長を評価し、子どもたちが成長した姿及び指導の成果、そして改善に向けた方策を明確にして次年度へつなげていきたい。

2点目、1月8日に佐倉市民音楽ホール（佐倉ハーモニーホール）にて開

催された令和6年佐倉市成人式について。式典には、吉村教育長職務代理者にも出席いただいた。こども支援部からの資料として、当日の概要が記された資料を配布している。今年は3地区にということで、従来の形態に戻して行われ、参加者については76.5%の参加率であった。例年どおり、8名の実行委員の方々による運営、進行で行われ、自分たちの門出である成人式をよりよい式典にしていきたい、そのような機運が感じられた式典であった。

個人的なことであるが、実行委員会の中に私が佐倉東高校に勤務していた当時の元生徒がおり、大変立派に成長された姿に出会えて非常にうれしい気持ちになったところである。

(教育長職務代理者)

当日は、天候にも恵まれ、8人の実行委員の方の運営の姿勢も大変すがすがしく、このような人生の節目の式を自分たちで作り上げていこうという仕組みはぜひこれからも続けていただければと思う。

今、教育長からも話があったが、私が勤務している短大のほうからも1名実行委員に選出させていただいた。彼女ならと思い推薦したところ、快くぜひやりたいということで引き受けていただき、当日も晴れ着姿で頑張っている姿を見て、非常にうれしい気持ちになったところである。

こども支援部の職員はじめ、多くの職員の方々が寒い中、外に立って運営をされている姿を拝見し、本当に皆様のご尽力で成功裏に終わった式典だと考えている。

② 表彰関係について【指導課長】

白銀小学校の交通安全優良学校の受賞について報告する。白銀小学校は、これまで交通安全教育に関して長年にわたり推進してきた。特に学年の発達段階に応じて、身近な交通環境における様々な危険の予測、的確な判断の下に安全に行動できる態度や能力の育成、社会人として必要な交通マナーを身につけることなどを中心に取り組んできた。開校当初より、保護者、地域、教職員の代表で組織する学校運営委員会を設置し、特に登下校の見守り活動では、地域の方々に積極的に関わっていただいている。それらのことから、本日、東京都文京区で開催されている第64回交通安全国民運動中央大会にて表彰された。

③ いじめの件数について【指導課長】

12月末日のいじめの認知件数は、小学校が270件、中学校が206件の合計476件。先週の金曜日に、学校支援アドバイザー会議があり、その中で、生徒指導上、様々な案件に対して管理職が前面に立って対応していることで、大きな問題にならず解決につながっていることが多いという報告をいただいた。今後も管理職へは子どもたちの状況を多面的につかむことが重要であることを伝え、いじめの早期発見、即日対応に努めるよう指示していく。

④ 感染状況について【指導課長】

12月16日から1月12日までの感染症の状況について報告する。インフルエンザ232名、新型コロナウイルス感染症39名、溶連菌感染症8名、水痘6名、咽頭結膜熱5名、流行性角結膜炎2名、感染性胃腸炎、アデノウイルス、流行性耳下腺炎、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎がそれぞれ1名である。12月16日以降、インフルエンザによる閉鎖が、冬休み前までで3学級となっている。新型コロナウイルス感染症による閉鎖はなかった。冬休み明けの感染状況としては、インフルエンザB型も出始めている。冬休み前と比較し、新型コロナウイルス感染症も増加傾向となっている。また、本日学年閉鎖となった学校があった。今後も感染症の予防については学校のほうにきめ細やかな指導をしていく。

《委員から報告》

令和6年になり、週が切り替わって1月1日から1月7日が第1週、1月8日から1月14日が第2週ということで、報告が来ている。

まず、先週、第2週、1月8日から1月14日、インフルエンザがかなり増えており、印旛市郡医師会内での定点当たり21.8まで増えた。第1週は、やはり学校が冬休みだったこともあり、定点当たり14.75。1.5倍以上、学校が始まってから増えている。それから、新型コロナウイルス感染症については、第2週が定点当たり16.58、その前の第1週が定点当たり9.25だったので、これも倍近く増えている。

インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の比率が、ピークで10倍以上だったのが、第1週で1.59倍、第2週で1.31倍まで縮まっており、これは新型コロナウイルス感染症が増えたということになる。人数でいうと、第1週目で222人、先週が398人、大体2倍である。インフルエンザと併せて、引き続き注意をしていただければと思う。

きちんとマスクをして、それから手洗いを確実に。うがいもしっかりと。もし家庭内感染が起こった場合には、十分に自宅待機の期間を設けていただくということで、注意をしていただきたい。

ただ、新型コロナウイルス感染症の重症化はほとんどなくて、先週、県のほうでも1名とか2名ぐらいしか集中治療室への入室はなかった。重症化はしづらいが、十分な対処をしていただいて、注意喚起をしていただきたいと思います。

それから溶連菌感染症、これも少し増えてきている。感染性胃腸炎も増えており、先週、第2週で定点当たり8.94。その前の週が定点当たり2.81だったので、大体3倍ぐらいになっている。

インフルエンザもまだこれからピークがどこへ来るか分からないので、十分注意をしていただきたい。

3 教育長閉会宣言